

2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 1 月 30 日作成)

小委員会名	構造物の性能最適化とロバスト性小委員会		主 査 名：竹脇 出 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 応用力学運営委員会		委員長名：和田 章 主査名：竹脇 出
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (簡条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・性能最適化、ロバスト性、不確定性、冗長性(リダンダンシー) 信頼性などの概念の整理に基づき、これらの概念の相互関係を明らかにする。 ・ロバスト性やリダンダンシーの概念が実際の建築設計で考慮されている例などを調査し、分析を行う。また、ロバスト性に優れた構造設計のあり方について提案する。 ・2007 あるいは 2008 年度に大会 PD を開催予定 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無 竹脇 出(京都大) 山川 誠(京都大) 浅岡泰彦(大林組) 朝川 剛(日建設計) 上谷宏二(京都大) 大井謙一(神戸大) 曾我部博之(愛知工大) 高田豊文(三重大) 堤 和敏(芝浦工大) 中西啓二(清水建設) 西谷 章(早稲田大) 山田和彦(鹿島建設)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2005 年度予算	120,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1 .(名称)「建築構造物の性能最適化とロバスト性に関するセミナー」 (資料名)建築構造物の性能最適化とロバスト性に関するセミナー資料 <div style="text-align: right;">参加者数 28 名</div>
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1 . 上記セミナーを開催し、当初予定通りの成果を挙げた。 2 . 第 55 回理論応用力学講演会においてオーガナイズドセッションを開催した。
委員会活動の問題点・課題	1 . 各委員からの調査報告を受ける機会を増やしたいと考えている。